

地域活動充実支援事業
(手柄地区)
No. 10 2021.3

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

第11回手柄地区地域活動充実支援事業 ミーティング

会議概要

日時	場所
令和3年2月28日(日) 13:30~15:10	姫路市立手柄公民館 2階会議室

出席者(順不同) 自治会長、地域活動団体関係者等約25名と姫路市より3名

議題

- ・「手柄村の歩み — 「手柄村」関係古書籍—《復刻合本》」の読み方
講師 前手柄地区連合自治会会長 浪花 孝治 氏

議事内容/結果

1 開会

会長挨拶

- ・当会議は手柄地区全体を活性化しようと願いつつ、ミーティングを重ねている。
- ・今年度はコロナ禍の影響で市からのコミュニティ活動助成事業を活用していた「総踊り」、「尚齒会」等の行事が中止となった中、手柄地区の歴史資料を集積した「手柄村の歩み—「手柄村」関係古書籍—《復刻合本》」を発行することとした。今回はその内容について、ご尽力いただいた浪花氏に、知識をアウトプットしていただき、みなさんと共有していただければと考えている。

2 講座「手柄村の歩み」の読み方

- ・150年から100年前の文章だが、難航した。
- ・辞書をよく読んだ。巻末に語句解説を載せているので参考にしてもらいたい。
- ・今回8つの資料を復刻した。だいたい、明治3年から昭和の始めごろまでの資料となる。
- ・手柄村は、「一村一家の風あり」と他の地域から言われるほどだった。

一 手柄村矯風規程の説明

手柄村47年間のうち、25年間運営にあたった村長の就任したばかりの意気込みが感じられる。当時の時代の状況が分かる。

伊勢参りについて、この頃から修学旅行で行くことになったのではないかな。

当時の若者の風習、ローカルルールについても考えさせられる。

二 兵庫県飾磨郡手柄村勢概要

大正10年6月に手柄村役場の改築工事が完了した時に、その記念に刊行したようだ。

当時の地図を見て、色々想像するだけでも楽しい。

当時の役場が栗山町にあった。

当時の地域の公民館は、倶楽部と表示されている。

村産婆条例があった。

尚歯会・・・老人をいたわること、便所、杖履物の世話、帰宅時の世話等の記載。

徴兵・・・誰が徴兵に行くか決めていたのかは分からない。

醤油税があった。

・三 手柄村主婦会申合事項

細かく記載、当時、道路は左側通行だと分かる。

・四 兵庫県飾磨郡手柄村勢一覧表

自転車の数まで記載している。

有権者と戸主会の数が一致しないなど、当時の選挙権について、考えさせられる。

全体の半分も説明が済んでいないが、時間が来たのでこれにて。また次回があれば。

3. 参加者より質疑等

- ・大変参考となる話だった。婦人会での活動をしていたが、尚歯会のことなど、今でも行っていることもあった。

4. まとめ（姫路市市民活動推進課）

- ・大変、勉強となる話だった。伊勢への修学旅行の話など、経過が分かり納得できる話しがたくさんあった。
- ・今回の事業は地域活動充実支援事業として持続可能な地域活動のために、地域で考えていくために実施しており、市も会議経費の補助など協力して実施している。
- ・手柄地区は歴史もあり、地域で活動している方がたくさんおられる状況が、今年のミーティングを通じてよく分かった。
- ・これらの活動を継続して実施していくために、手柄地区での地域活動について、地区連合自治会も含めて、活動形態の在り方、計画などについて、来年度も引き続き事業を進めていただきたいと考えている。

次回 令和3年3月28日（日） 13時30分から

内容 セミナー「令和3年度 地域活動の計画（案）」について

前年7月に提案発表した5グループの計画案（環境、歴史文化、地域交流、地域安全安心、地域福祉）について

当日の様子

